

1 教科領域研究テーマ

生活の中の課題を見付け、解決する力の育成

ー習得した知識や技能を生活に活かす、題材設定の工夫と評価の改善ー

2 研究テーマ設定の理由

自分の力で自分及び社会の状況を把握し、よりよい未来の実現に向けてよりよい方法を選択したり創り出したりできる力を身に付けていくことは、VUCA の時代に求められている力であるとともに、家庭科の目指すところでもある。家庭分野では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指している。「生活の営みに係る見方・考え方」とは、家族や家庭生活、衣食住、消費生活や環境などに係る生活事象を協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫することである。

家庭の仕事は商品化され、手軽に手に入れることが可能になり、実践の必要性を感じにくくなっている。習得した知識や技能を生活実践につなげることで、実感を持って学ぶことができる。さらに、その経験や気づきが、自身の生活に目を向ける「きっかけ」となり、自分にできることを増やしたり、生活への課題意識を持ったりできるようになると考え、本テーマを設定した。今年度は、実践的・体験的な課題を設定し、メタ認知を更に高める機会を増やしていきたい。

3 具体的な研究の内容と方法

(1) 題材設定と計画の工夫

家庭分野の題材によっては、他教科での学びと重なるものもある。他教科(理科、英語、技術など)と連携しながら、生活(家庭)に生きる学びとして習得した知識や技能を活用させたい。他教科と重なる学習内容は精選したり、同じ題材でも生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら課題解決をしたりと、課題設定のタイミングや内容の工夫などの研究を深めていきたい。また、生徒自らが課題を解決する方法を試行錯誤するような場面を作り、実感を伴った理解やメタ認知を高める機会を増やしたい。

(2) OPP シートの改善と活用

昨年度の OPP シートの研究では、毎時間の振り返りを行う以外に、題材の始めと終わりにイメージマップを再度作成し、生徒自らが意識や視点の変化を実感できるものになるようにした。授業内に振り返り時間を設けるのが難しく、生徒への負担が課題となっている。今年度は、ワークシートなどを取り込んだり、まとめ時間ごとの振り返りにしたりと改良しながら、よりメタ認知を高められるものにしていきたい。

4 校内研究授業計画

時期：10月 内容・学年：住生活・2年